

ティアの涙





ティアの涙

作 / クリムゾン





「待てティア

今日は戦いに来たのではない

最後にひとつ

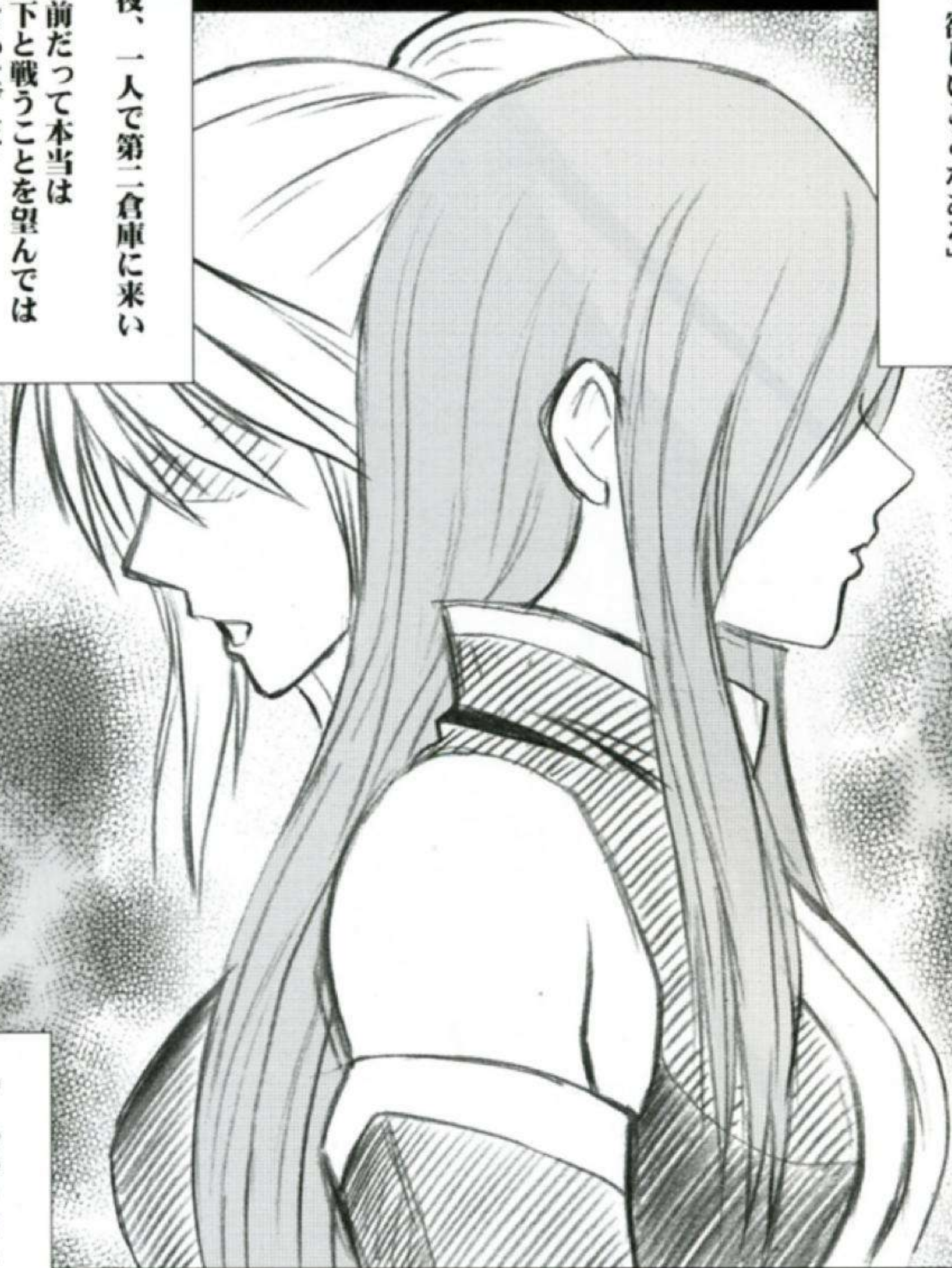
聞いて欲しいことがある」

「夜、一人で第二倉庫に來い

お前だって本当は

闇下と戦うことを望んではいないはずだ」

「…わかりました…教官…」





「教官…？」

「どこですか教官？」





# ティアの涙

## 第一話

### 「理性の壁」







か…体が…勝手に…!!

グ  
グ  
グ  
ッ

カースロッドだよ  
知ってるだろ?

お前はもう  
僕の傀儡だ

このまま殺すのは  
カンタンだけど

リグレットが  
どうしてもお前を  
こちらに  
引き込みたいと  
言ってるね

ちよつと  
協力して  
やるのさ









まさかとは  
思ったけど

本当に目の前で  
オナニーを始めるとはね



ば...ばかなこと  
言わないで!

これは  
あなたが操ってる  
から...!

違うよ...  
カースロッドは  
心の奥に潜む  
抑えられた欲求を  
解放することで  
人を操る譜術

被術者が  
望んでいないことは  
実行させられない



お前は本当は  
人前で  
オナニーがしたくて  
たまらなかったって  
ことさ

ふるふるッ

そんな…ッ！

ちがつ…！

アハハハハ！

私が…  
望んでる…？

そんなはずは…！

おや？  
もう  
始まつてるのか？

…！！







こんな厚い服を  
着ているより  
直に触ったほうが  
気持ちいいぞティア

……!

教団の戒律を守る  
真面目なお前は

アイッ

自慰など  
したことが  
ないのだろう

クリクリ

でも私には  
分かっている

ビクッ  
ビクッ

あっ!

お前は本当は  
いやらしいことに  
興味を持って  
いたことがな

クリ  
クリ

んっ!



どうだ？

んっ…

こうすると  
気持ちいいだろう  
分かったか？

……っ！

ググッ

グッ

あとは  
自分で  
やってみろ

そうだ…  
相変わらず  
飲み込みが早いな

…!!

グッ

んっ！

グッ

グッ





教官が  
こんな卑怯なこと  
するとは思いません  
でした！



ティアは  
淫乱の素養も  
あるんじゃないか？



フフフ…  
一度イカせて  
その態度を  
あらためさせて  
やろう



その軽蔑の  
まなざし…

いつかは  
従順なものに  
変わる…





あああッ！

ビビッ

ビビッ



やっ……

グイッ

きよ……教官！  
待って……！

いいだろう  
やってみろ

……！！

どうした？  
もう自分で  
触りたくなつたか？

私がやっていたように  
触ってみるんだ

くっ……



ま……また……

ああッ！

手が勝手に……！





そうだ  
そうやって  
自分の気持ちいい  
ように  
触ってみろ

はアツ!

胸のほうは  
私が  
責めてやる

こころゆくまで  
一番気持ちいい  
ところを  
いじりたおすといひ

んんん  
んんん  
……ツ!

ビクッ

ビクッ

もみ  
もみ

もみ  
もみ

ビクッ







ばか……！  
私のばか……！

何をやってるの……！

あつ！

もみもみ

ビクッ  
ビクッ

ビクッ

ああッ！

何で……何でこんなこと……！

クチュクチュ

ビクッ

はあッ！

フッフ  
リグレットの言った  
通りだったね

これなら  
こちら側につくのも  
時間の問題かもね

あッ！！







あああつ！

あああ  
ああッ！

んんんっ！

自分の指に…

犯されてる……！

んんん  
んんん  
!!ん

ピッピッ

ピッピッ







# ティアの涙

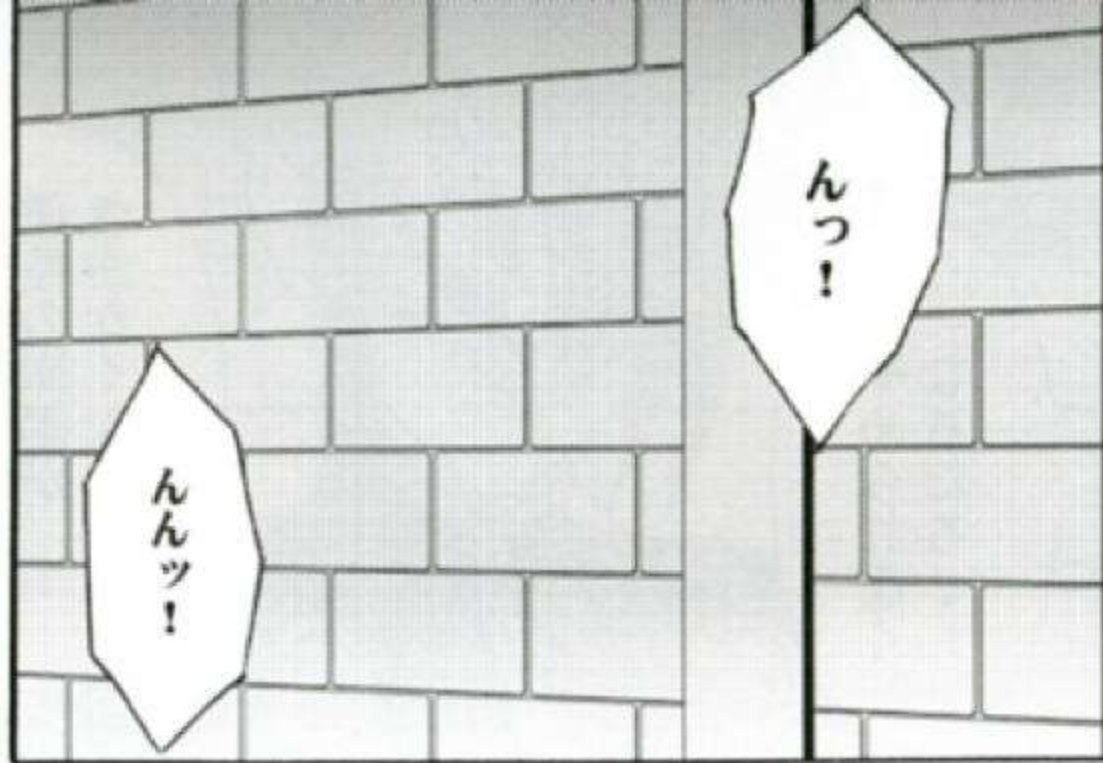
## 第二話

### 「懇願」





そんなに  
お尻の穴が  
イイのか？



んっ！

んんッ！



今日はじめて  
オナニーを知った  
女とは思えないな

イツてもイツても  
まだまだ  
欲しくて  
たまらなそうだな

はあッ！

ビクッ





んッ…  
やめられなく  
なるだろ？

カースロッドは  
理性の抑制が  
きかなくなるからね

アッ！！  
アッ！！  
アッ！！



それにしたつ  
て少し  
イキすぎだな

くううッ！

アッ！！

アッ！！



こんなこと  
いつまで続けても

はるるる

はるるる

兄の計画に  
協力することは  
絶対にありません！

こんな卑怯なことを  
するのなら  
なおさらです！

私の手だけで  
何とかしようと  
思っていたのだが…

そうか…  
残念だ…

バッ





はなして！

いやっ！

グイッ



お前が  
淫乱の素質を  
持っていることは  
分かった

あとは  
そいつら

んッ！  
性の能力に特化した  
レプリカ達に  
かわいがって

あッ！！

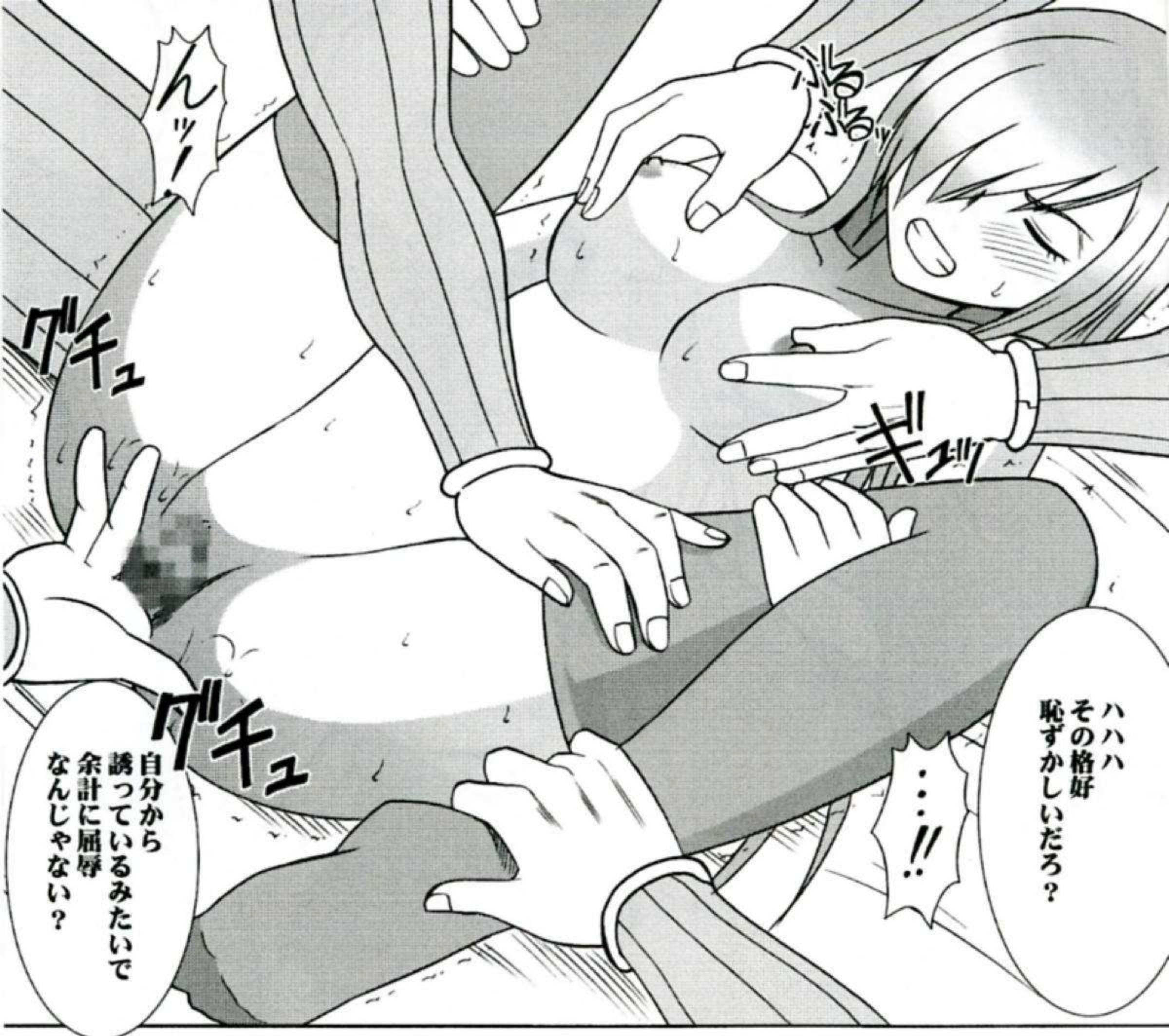
















あああッ!









へえ…  
さすがにこれは  
イヤなんだ

カースロットは  
本人が望まないことは  
させられないからね



いやっ!

やっ!

ギシ  
ギシ





まあ  
操れなくても

ムリヤリ  
押さえつけられ  
問題ないけどね

フル



た…助けて！  
リグレット教官！  
助けてください！

おねがい…！  
おねがいます！









あああつ！

あああ  
ああッ！



…!!



何もできない……！

あッ！！



ああッ！

くっ…  
抵抗したいのに…  
ああッ！

ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ





もう  
抵抗しないんだね

んッ!

んッ!

フッフ...

んッ!

ビクッ



チ●ポさえ  
入れてしまえば

んッ!

あああッ!

カーズロッドなんか  
使わないって  
ことか

んッ!







ああ  
ああ  
ああ  
ツ  
!







レイブされること  
自体は  
逆らっていた  
みたいだね

気持ちよくなることには  
従順なまま  
だったみたいだね





# あとがき

テイルスシリーズの本を描くのはこれが二回目です。  
一回目はテイルスオブディステニーのナナリーで描いたのですがこれがまったくダメな作品だったので  
いつかテイルスシリーズでもう一度描こうと思っていました。

ティアの服装はとてもかわいいのですがゴテゴテしているので  
着衣のままHするわけにもいかず、どこまで脱がすべきか迷いました。  
結局ほとんど脱がしてしまいましたが、もうちょっと服を残しても良かったかと思います。

ティアといえばメロンとも評される胸ですが  
今回のお話ではあまり胸責めが描けませんでした。  
巨乳とはいえ、やはり絵柄の関係上スレンダー体型になるので  
あまり巨乳らしさを強調できなかったかもしれません。

要望が多ければまたティアで描きたいです。  
ベルケンドの精密検査のシーンをもっと拡大バージョンで描こうかと思います。

テイルスオブジァビスはとても面白かったですね。  
テイルスシリーズを全部やっているわけではないので断言はできませんが  
シリーズ最高傑作と言ってもいいのではないのでしょうか。  
とくにストーリーが最高でした。  
普通のゲームならばアグゼリウス崩壊のイベントがクライマックス直前に値するくらいのイベントなのに  
あれがまだ序盤というのがビックリしました。  
「1回から9回まで全力投球」という印象を受けましたね。  
キャラクターもメインの6人全員個性的でキャラ立ちしていたと思います。  
フェイスチャットというシステムも完成されていますね。  
あのシステムのおかげでキャラクターの魅力が引き出されたかと思います。  
主題歌もストーリーにあっていて良かったです。  
めずらしく二周目までプレイしました。



ベルケンドの病院で  
体の精密検査を  
受けることになったティア

まずは体にたまっている瘴気を  
測定すると言われ  
服を脱がされ  
振動する機械を胸に  
当てられる。






次に子宮で測定すると言われ  
下着を脱がされる。  
医者のがすがままのティア。

甘い痺れが快感となつて  
何度も何度も襲ってくるが  
真面目な検査だと  
思い込んでいるティアは  
必死で声をガマンし  
唇を噛みしめて辱めに耐える。







ビクビクッと反応してしまう  
ティアの体。  
医者はじっとしてくれないと  
測定ができないと言って  
ティアの体を押さえつけ  
いつまでも振動する機械を  
ティアの恥部に当て続ける。





初刷 2006 年 5 月 21 日 発行

「クリムゾン」PRESENTS

# ティアの涙

<http://www.alles.or.jp/~uir>

印刷 大陽出版株式会社さま



この本をご購入していただきありがとうございました。  
ネットなどに転載をしないよう どうかよろしくおねがいします。





ティアを仲間に引き込みたいリグレットはカーズロッドを使ってティアを壁としにかかる。体を操られたティアは自分の意思に反し、人前でオナニーをはじめ、徐々にHな素質を引き出されていく。リグレットには少し触っただけでピクンと反応してしまう敏感な胸をいじりたおされ、勢のレプリカには囲まれてイクまで指でこねくりまわされ…。